

## 第5回 まちづくりワークショップまとめ

### 1. ワークショップの目的

赤穂市が目指すまちづくりの方向性を示す最上位計画として、2021年度から10年間を計画期間とする新たな「2030 赤穂市総合計画」の検討・策定を進めるにあたって、ワークショップを開催しました。

赤穂市のまちづくりに対する問題・課題意識や将来のまちづくりに対する意向等について市民同士が話し合う交流の機会として、また、赤穂市のまちづくりへの市民参画の機会となることを目的としています。

### 2. ワークショップの概要

実施日時：令和2年1月23日（木）19：00～21：00

実施方法：市民ワークショップ参加者に対し、くじを引いて各5～6人でグループ分けし、カードゲームによるSDGsと赤穂市の施策についての結びつきから、赤穂市の現在や未来について意見を出し合い、KJ法※によりまとめていただきました。

ファシリテーター：関西福祉大学児童教育学科教授 小野間 正巳

参加者数：35人

※KJ法：カードに書き出した意見や情報などに対し、グループ分けとタイトルづけを行い、関連性を見いだすことで、意見や情報をまとめる手法。

### 3. ワークショップの手法

開催テーマ：“SDGsの目標に基づく取組について考えよう”

- ① SDGsについて、カードを使ったゲーム方式（「ひとこと多い張り紙」を組み立ててみましょう。）で学習する。
- ② SDGsの目標の中から1つ選んで、思いついたこと、日ごろ思っていることを書き出す。
- ③ 書き出した内容をグループ分けする。
- ④ ショップの中で、特に問題性や重要度が高いと思われるものを2つ選択する。
- ⑤ 選択した課題を回避するためにできる対策を書き出す。
- ⑥ 対策後の姿を書き出す。
- ⑦ 対策が、2030 赤穂市総合計画の4つの柱のどれにあてはまるか考えてみましょう。

### 4. ワークショップのまとめ

今回のワークショップでは、最初にSDGsについて学習し、17の目標の中から1つの目標を選んで、各グループで話し合い赤穂市のまちづくりの課題と対策について考えました。

「住み続けられるまちづくりを」、「質の高い教育をみんなに」の2つの目標が、主に選択され、各グループ共通して「安心して住みやすい元気なまち」を目標にした対策が、意見として取りまとめられました。人口減少が続く中で、どうやって次世代に赤穂市を繋げていくか、今回のワークショップの対策が活かされる計画策定を進めていかなければなりません。

